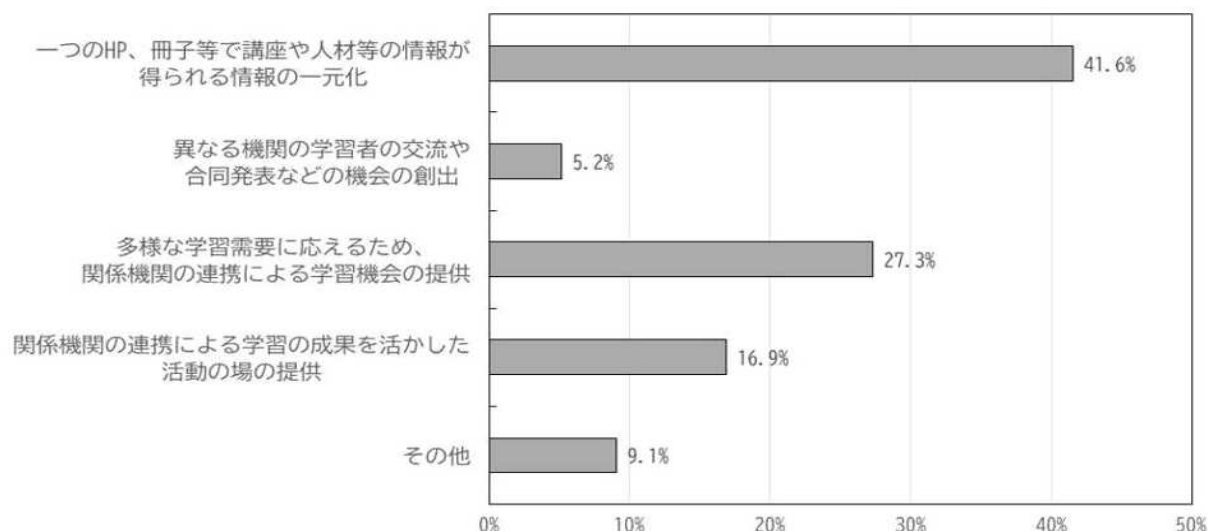


【今後の生涯学習事業について】

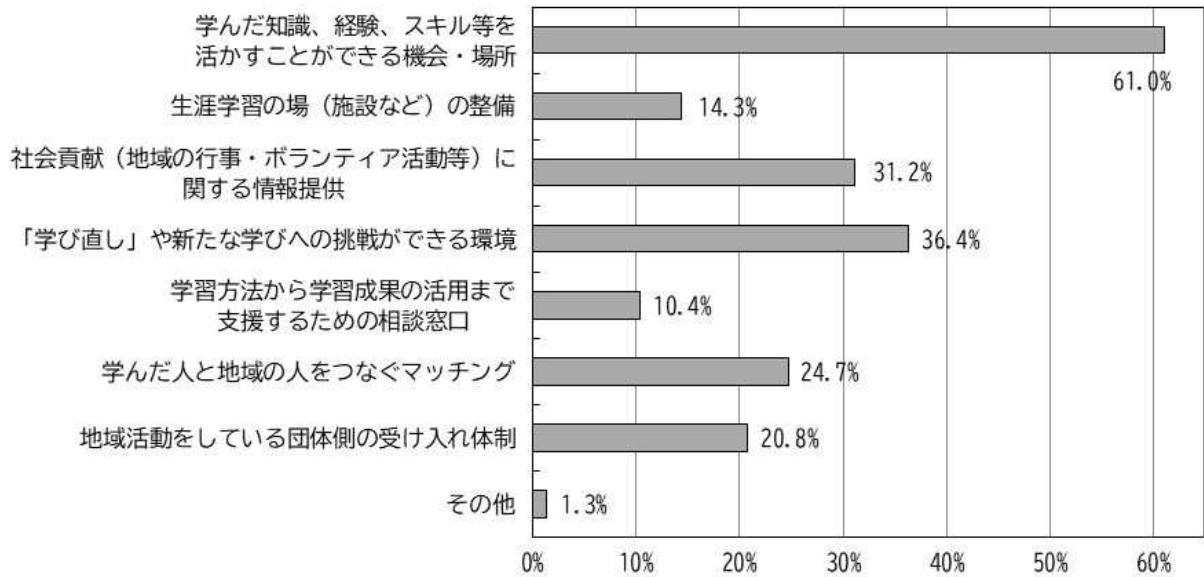
問20 現在、行政や大学、NPO、企業、カルチャーセンターなど多くの機関が様々な学習機会を提供しています。今後さらに、市民の学習機会を充実するには、これら多くの機関が連携を深めていくことが必要と考えています。そのためにはどのようなことが必要と考えますか。



		回答者数	一つのHP、冊子等で講座や人材等の情報が得られる情報の一元化	異なる機関の学習者の交流や合同発表などの機会の創出	多様な学習需要に応えるため、関係機関の連携による学習機会の提供	関係機関の連携による学習の成果を活かした活動の場の提供	その他	無回答
全体		77人	41.6%	5.2%	27.3%	16.9%	9.1%	0.0%
性別	男性	35人	37.1%	5.7%	22.9%	22.9%	11.4%	0.0%
	女性	42人	45.2%	4.8%	31.0%	11.9%	7.1%	0.0%
年齢別	20歳代	4人	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	12人	41.7%	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%
	40歳代	20人	30.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	50歳代	13人	53.8%	0.0%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%
	60歳代	17人	47.1%	0.0%	17.6%	23.5%	11.8%	0.0%
	70歳以上	11人	27.3%	9.1%	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%
区別	門司区	6人	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%
	小倉北区	17人	41.2%	5.9%	35.3%	11.8%	5.9%	0.0%
	小倉南区	20人	55.0%	0.0%	15.0%	25.0%	5.0%	0.0%
	若松区	3人	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	36.4%	0.0%	27.3%	27.3%	9.1%	0.0%
	八幡西区	14人	42.9%	14.3%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%
	戸畑区	6人	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	0.0%

全体では、「一つのHP、冊子等で講座や人材等の情報が得られる情報の一元化」(41.6%)が最も多く、次いで「多様な学習需要に応えるため、関係機関の連携による学習機会の提供」(27.3%)となった。その他では「もっとメディアを使って、どこでどんな活動が行われているかの情報を知らせてほしい」という意見があった。

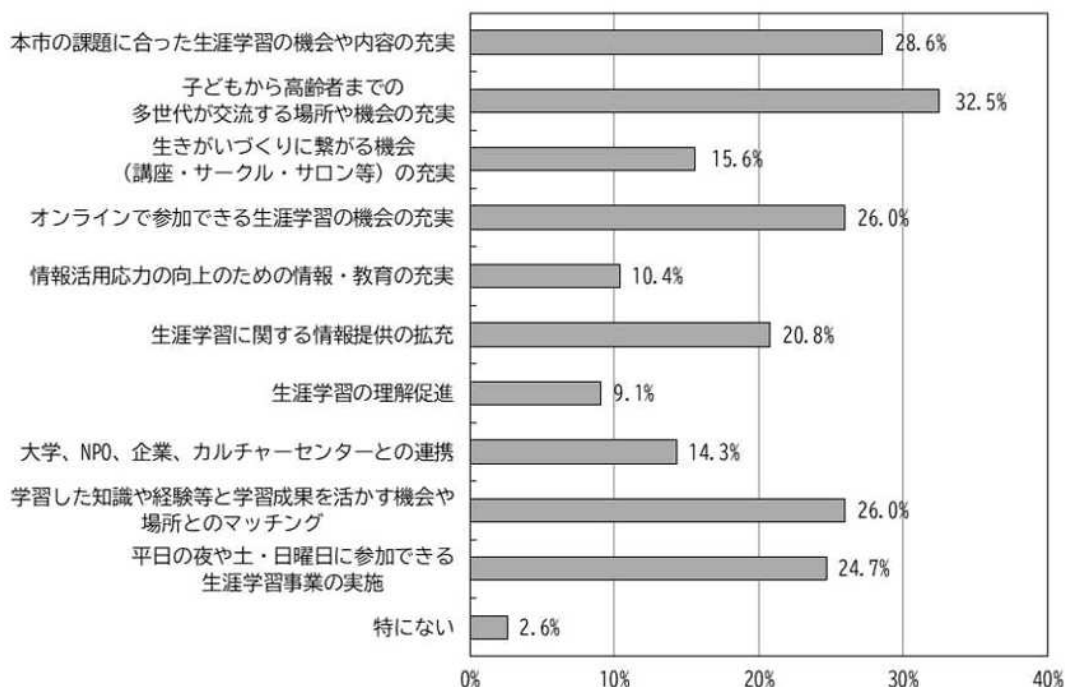
問21 急速な社会環境の変化を受けて、市民が抱える課題は多様化しています。こうした課題を解決するには、生涯学習で学んだ知識、経験、スキル等が、さまざまな地域活動やボランティア活動等に活かされることが重要です。そのためには何が必要と考えますか。選択肢から主なものを3つ選んでください。



	回答者数	学んだ知識、経験、スキル等を活かすことができる機会・場所	生涯学習の場（施設など）の整備	社会貢献（地域の行事・ボランティア活動等）に関する情報提供	「学び直し」や新たな学びへの挑戦ができる環境	学習方法から学習成果の活用まで支援するための相談窓口	学んだ人と地域の人をつなぐマッチング	地域活動をしている団体側の受け入れ体制	その他	無回答	
全体	77人	61.0%	14.3%	31.2%	36.4%	10.4%	24.7%	20.8%	1.3%	0.0%	
性別	男性	35人	60.0%	14.3%	28.6%	34.3%	8.6%	25.7%	22.9%	2.9%	0.0%
	女性	42人	61.9%	14.3%	33.3%	38.1%	11.9%	23.8%	19.0%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	4人	100.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	12人	58.3%	8.3%	33.3%	25.0%	8.3%	33.3%	25.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	20人	70.0%	20.0%	25.0%	30.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	13人	38.5%	23.1%	53.8%	53.8%	7.7%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
	60歳代	17人	70.6%	5.9%	5.9%	41.2%	5.9%	23.5%	23.5%	5.9%	0.0%
	70歳代以上	11人	45.5%	9.1%	63.6%	45.5%	0.0%	27.3%	27.3%	0.0%	0.0%
区別	門司区	6人	50.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	小倉北区	17人	64.7%	0.0%	17.6%	47.1%	17.6%	23.5%	35.3%	5.9%	0.0%
	小倉南区	20人	55.0%	15.0%	45.0%	30.0%	15.0%	20.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	若松区	3人	66.7%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	54.5%	18.2%	9.1%	45.5%	9.1%	36.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	14人	71.4%	21.4%	28.6%	35.7%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%
	戸畑区	6人	66.7%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%

全体では、昨年度と同様に「学んだ知識、経験、スキル等を活かすことができる機会・場所」(61.0%)が最も多かった。次いで「学び直し」や「新たな学びへの挑戦ができる環境」(36.4%)が多く、年齢別で見ると50歳代の割合が一番高かった。

問22 北九州市では生涯学習の分野で、今後どのようなことに重点的に取り組むべきと考えますか。選択肢から主なものを3つ選んでください。



	回答者数	本市の課題に合った生涯学習の機会や内容の充実	子どもから高齢者までの多世代が交流する場所や機会の充実	生きがいづくりに繋がる機会(講座・サークル・サロン等)の充実	オンラインで参加できる生涯学習の機会の充実	情報活用応力の向上のための情報・教育の充実	生涯学習に関する情報提供の拡充	生涯学習の理解促進	大学、NPO、企業、カルチャーセンターとの連携	学習した知識や経験等と学習成果を活かす機会や場所とのマッチング	平日の夜や土・日曜日に参加できる生涯学習事業の実施	特にない	その他	
全体	77人	28.6%	32.5%	15.6%	26.0%	10.4%	20.8%	9.1%	14.3%	26.0%	24.7%	2.6%	1.3%	
性別	男性	35人	28.6%	37.1%	14.3%	25.7%	11.4%	17.1%	5.7%	20.0%	28.6%	17.1%	5.7%	2.9%
	女性	42人	28.6%	28.6%	16.7%	26.2%	9.5%	23.8%	11.9%	9.5%	23.8%	31.0%	0.0%	0.0%
年齢別	20歳代	4人	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	12人	25.0%	25.0%	8.3%	41.7%	0.0%	16.7%	8.3%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	20人	30.0%	40.0%	15.0%	15.0%	25.0%	15.0%	10.0%	5.0%	30.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	13人	38.5%	30.8%	23.1%	23.1%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	15.4%	23.1%	0.0%	7.7%
	60歳代	17人	23.5%	35.3%	11.8%	23.5%	5.9%	29.4%	11.8%	17.6%	35.3%	17.6%	5.9%	0.0%
	70歳代以上	11人	36.4%	36.4%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	27.3%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
区別	門司区	6人	33.3%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	17人	17.6%	35.3%	11.8%	35.3%	17.6%	29.4%	11.8%	11.8%	23.5%	17.6%	5.9%	0.0%
	小倉南区	20人	40.0%	25.0%	10.0%	40.0%	5.0%	30.0%	0.0%	5.0%	30.0%	40.0%	0.0%	5.0%
	若松区	3人	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	11人	0.0%	36.4%	18.2%	27.3%	18.2%	0.0%	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%	0.0%	0.0%
	八幡西区	14人	50.0%	21.4%	14.3%	7.1%	14.3%	21.4%	14.3%	14.3%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%
	戸畑区	6人	16.7%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%

全体では、「子どもから高齢者までの多世代が交流する場所や機会の充実」(32.5%)が最も多く、ついで「本市の課題に合った生涯学習の機会や内容の充実」(28.6%)、「オンラインで参加できる生涯学習の機会の充実」(26.0%)「学習した知識や経験等と学習成果を活かす機会や場所とのマッチング」(26.0%)となった。

問23 北九州市では、さまざまな地域活動の拠点として、概ね小学校区に1館の市民センターを設置しています。

生涯学習活動は、この市民センターを中心に活発に実施されていますが、さらに学習活動や地域活動を充実させるためには市民センターがどのような活動を行ったり、支援があればいいと思いますか。

38件の記入がありました。主な内容は次のとおりです。(抜粋)

- ・月1回の子育て相談以外に、子どもと子育て世代の人が参加できる活動。
共働きの多いので土日の午前中だと参加しやすいと思う。
【門司区 30歳代 男性】
- ・市民センターの利用について、講座がメインでしか立ち寄れない感じがある。講座以外の方も立ち寄れる場所づくりがあれば良い。
【門司区 40歳代 女性】
- ・市の問題点と課題への具体的な対策を分かりやすく、かつ取り組みやすくしてもらいたい。
【小倉北区 40歳代 男性】
- ・規則が厳しすぎる。また、利益を出す内容は禁止されているが、あってもいいと思う。
【小倉北区 40歳代 男性】
- ・市民センターの職員が少ないので、それを補うボランティア活動の推進が必要。また、職員がボランティアを信頼して相互に協力しあう風土を作ることが必要。
【小倉北区 40歳代 男性】
- ・単なる補助ではなく、将来への投資と位置付けられるものに対して、費用対効果を考慮したうえで、重点的に支援してほしい。
【小倉北区 60歳代 男性】
- ・乳幼児や子ども、高齢者の集まりがあっても、障害を持つ当事者、家族参加ができる企画がないので作ってほしい。
【小倉北区 60歳代 男性】
- ・市民センターが本当に必要か、地域交流センターとの重複は無駄ではないのか、費用対効果の面も含めて検証してほしい。
【小倉北区 70歳代 男性】
- ・市民センターの活動が、一部の仲良し活動になっている。統廃合してもっと充実した活動に格上げし、長期的な計画を立てる必要がある。
【小倉南区 30歳代 男性】
- ・日常的に利用していない市民にとっては少し敷居が高く感じる。市民センターを利用しない住民にも広く門戸を開いた運営を期待する。
【小倉南区 50歳代 女性】

- ・年配で足腰が弱い人は市民センターまでの移動手段の問題で参加を躊躇するし、情報を得る手段が狭い。講座のターゲットに対してターゲット目線の対策が不足していると感じる。

【小倉南区 50歳代 男性】

- ・身近な情報の発信、お金のかからない講座。

【小倉南区 50歳代 男性】

- ・普段の生活の困りごとの解決ができるような身近な内容。スマホの使い方、保険の学習会、子育て支援、環境問題、平和学習など。

【小倉南区 50歳代 女性】

- ・平日の放課後や夏休み期間など、子どもたちが市民センターに行き、自由に集まり勉強する機会・場所を開放してほしい。

【小倉南区 60歳代 男性】

- ・公共交通機関の利用者も通いやすい、民間の場所も利用した機会を増やす。

【小倉南区 60歳代 男性】

- ・市民センターは、時間のある年配者が集まる所というイメージがあるし、いまだにその傾向があると思う。もっと地域の子どもから年配者までが気軽に立ち寄れる何かをみつけられないかと感じている。

【小倉南区 70歳代 女性】

- ・市民センターの立地が悪い。

【小倉南区 80歳代 男性】

- ・活動する時間が仕事中的のことが多いと感じる。募集対象は高齢者なのだろうという講座がかなり多い。

【若松区 70歳代 女性】

- ・多くの高齢者は時間を持て余している。その高齢者の興味を引くような講座（健康、旅行、パソコン、スマホなど）を平日に開催してほしい。

【若松区 70歳代 男性】

- ・営業活動が認められないために市民センターを会場にできず、残念に思うことがあった。もっと門戸を広く開放してほしい。

【八幡東区 30歳代 女性】

- ・これからは自助が高齢化の中難しいので、共助の仕組みを強くしていく必要がある。そのためにはもう少し公助の援助が必要だと思う。

【八幡東区 70代 男性】

- ・小中学校などの生徒と地域社会の交流・社会学習の場。
- ・子育て・介護など、地域の人々が相談できる場。

- ・地域社会と街を盛り上げたい支援者など色々なものがつながる、まちづくりの拠点となる場。
- ・単身者など、孤立しがちな人々も参加できる地域の人々の交流の場。

【八幡西区 30歳代 女性】

- ・誰でも気軽に参加できる講座、音楽鑑賞。

【八幡西区 30歳代 男性】

- ・幅広い年齢、国籍を問わない活動。優しい日本語での支援の充実。

【八幡西区 30歳代 女性】

- ・個人の自習環境支援活動（机を常に貸し出すことができる）。
- ・地域の歴史資料室としての役割。
- ・図書館の本の貸出・返却。
- ・オンデマンドでの行政対応窓口の設置。

【八幡西区 40歳代 女性】

IV 全体考察

1 生涯学習全般について

(1) 生涯学習活動について

「生涯学習」の認知度については、令和5年度から大きな変化はなかった。

過去1年間に「学習活動をした」割合は36.4%で、令和5年度(47.1%)を大幅に下回った。一方で学習活動をしている人の学習活動に対する満足度は、「おおいに満足」と「満足」の合計が71.5%であり、学習活動に満足を感じている割合が非常に高い。学習活動を始めるきっかけづくりが重要であると考えられる。

(2) 学習に関する情報について

学習活動に関する情報の入手元では、「インターネット」(57.1%)が最も多く、また、望む情報提供方法についても「SNS」「ホームページ」の割合が多いことから、インターネットを主に利用していると考えられる。しかし、70歳代以上についてはその割合が下がることから、情報の内容に応じて方法を選択していく必要があると考えられる。

(3) 学習成果の活用について

学習の成果について、「すでに活かしている」「ぜひ活かしたい」「機会があれば活かしたい」という回答の合計が89.3%であり、多くの人が学習成果を活かして社会に貢献することに肯定的であると考えられる。

学習活動を活かすにあたって困っている点として、「どのような活動に活かすことができるのかわからない」「活かすことが出来るまでの段階に達していない」「身近で活かせる活動を見つけられない、活動場所がない」という回答が多いため、学習活動を活かせる機会や場所に関する情報提供が必要と考えられる。

(4) 学習活動をしていない理由

「仕事や家事等が忙しくて時間がとれない」(73.5%)が最も多く、時間的な制約が大きいと考えられる。次に多かったのは「学習に関心はあるが、自分が学びたいことがまだ決まっていない」(28.6%)であった。

2 地域活動について

地域に対する愛着を持つ割合は 8 割近くに達した。また、地域のために役立ちたいかという質問に対して、「そう思う」(24.7%)と「どちらかといえばそう思う」(50.6%)という肯定的な意見は 7 割を超えている。また、地域の人と積極的な交流に対する前向きに意見は 5 割を超え、総じて肯定的であった。

一方で「地域活動をリードする人材やボランティア活動に取り組む人材が増えた」と感じるかという質問については「どちらともいえない」(49.4%)が最も多いが、増えたと感じる割合がそう思わない割合を上回ったので、ある程度の効果は感じていると考えられる。

地域活動では、「自治会、町内会に関する活動」(45.5%)が最も多く、全体では 7 割の方が何らかの地域の活動に参加している。年齢別では 30 歳代が「地域の活動に参加したことがない」と答えた割合が最も多く、年代により状況が大きく異なっている。

地域のために役立ちたいという気持ちがありながらも、具体的な活動に繋げることができる年代は限定的と考えられる。

3 オンラインを活用した学習活動について

オンラインを活用した学習活動では、「学習活動をした」のは 35.1%であり、令和 5 年度より割合が増えた。50 歳代以上はオンラインを活用した割合と活用していない割合が半々であり、年代が高くても一定の割合で活用されているといえる。

「学習活動をした」と回答した中では、「今後もオンラインを活用した学習を行いたい」(63.0%)の回答が最も多く、今後も学習活動の 1 つの形態として活用が進むことが考えられる。

4 今後の生涯学習事業について

今後さらに市民の学習機会を充実するために必要と思われる機能として、「一つのHP、冊子等で講座や人材等の情報が得られる情報の一元化」(41.6%)が最も多く、次いで「多様な学習需要に応えるため、関係機関の連携による学習機会の提供」(27.3%)となった。

北九州市が生涯学習の分野で今後どのようなことに重点的に取り組むべきかについては、「子どもから高齢者までの多世代が交流する場所や機会の充実」(32.5%)が最も多く、人と人との繋がりづくりの面での期待が高いと考えられる。

【市政モニターに関すること】

総務市民局市民部広聴課（TEL：582-2527）

【アンケートに関すること】

総務市民局地域・人づくり部生涯学習課（TEL：582-2385）